

東風 HARUKAZE

令和2年11月30日発行

多様性こそが“レジリエンス”を生む



バイアスを払拭しよう

明日から先生も走る12月ですが、地域の皆様、保護者の皆様の心温まるご支援のおかげで、生徒は安全を実感しながら充実した毎日を過ごすことができています。心より感謝申し上げます。

さて、春夏秋冬季節が廻り、ふれあいの丘に再び北風が吹き、寒さが身に染みる時期になりました。大気の乾燥とともに、感染症も再び拡大傾向を示しています。ウイルスが活性化しやすい環境になっておりますので、皆様、くれぐれもお身体ご自愛ください。

生徒も職員も、8~10月はかなり走りまわったので、この11~12月はじっくりと生徒と向き合い、一人一人に寄り添いながら、落ち着きある日々を維持していきます。右掲載内容を生徒・職員で共有し、毎日の生活と授業を通して感染症拡大防止に万全を期していく所存です。特に授業では、防災教育の視点から「危険予見」「危険予測」「危険回避」などの自助の精神と力を育てていきます。「今まで大丈夫だったから、これからも大丈夫」「きっと大したことではない」「自分だけはそうならない」…

災害の被害や事故は、人が知らず知らずにおちいる偏った見方から起こることがあります。そのような見方を「**正常性※バイアス**」と呼んでいます。 ※**バイアス**とは思い込み・偏見という意味で使われます。似たような見方で「**集団同調性バイアス**（皆がそうしているからそうすることが正しい）」、「**ベテランバイアス**（今までの経験でそうだったからこれからもそうなる）」などがあります。偏った見方は予見や予測、自助の判断を狂わせ、大きな被害を生むことがあります。また、共助の精神を曇らせ、復旧・復興を遅らせることもあります。多様であることを否定し、差別を生むことさえあります。右の生活スタイル・学習スタイルは、新宮東中学校に最適化するように、状況に合わせて“しなやかに”見直しを加えています。

宇宙飛行士の野口聡一さんらが、11月17日に国際宇宙ステーションとドッキングした宇宙船に、困難に打ち勝つという願いを込めて名付けた“レジリエンス”。強靱性、柔軟性（しなやかさ）、回復力、復元力を表す英語で、防災教育では“縮災”の意味でも使われます。“レジリエンス”の乗組員4名（Crew-1）の経歴や国籍等のバックグラウンドは皆さん異なるとのこと。



野口聡一飛行士曰く、
この多様性こそが、“レジリエンス”を生む

2回の改訂を加えた生活スタイル

日常生活をとりもどすまでの生活スタイル Ver.3
体の感染、心の感染(恐怖・不安)、社会的な感染(偏見・差別)を防ごう!
新宮町立新宮東中学校

- 登校時
 - ①登校時、昇降口前で体調、検温の有無、マスクの着用を確認する。
 - ②検温していないときは昇降口前(校舎外)にて、検温する。
 - ③昇降口前にて、手消毒をする。
- 授業、休み時間、黙読掃除
 - ①休み時間に必ず手洗い(手消毒)を行う。
 - ②休み時間は必ず換気を行う。(授業中はロスナイ換気を使用する。)
 - ③特別教室での机やイスなどを、使用後は必ず消毒する。(特に家庭科、音楽科、理科 ※生徒消毒係を設けてもよい)
 - ④教師や友だちと話すときにも1m程の距離をとる。(フィジカルディスタンス)
 - ⑤人を傷つける感染症に関わる言動を絶対にしない。
 - ⑥廊下を歩くときも1列で1m(手を伸ばしても当たらない)程の距離をとる。
 - ⑦授業の授業、昼休みのグラウンドでは、マスクを外してもよい。
 - ⑧はじめ・終わりの会では、密に気をつける。(グループ内や別のグループとの距離)※部活動のミーティングも同様
- 給食時間
 - ①給食前には、全員手洗いを行う。
 - ②配膳時には、全員マスクを着用する。
 - ③配膳の前には必ず配膳台の消毒を行う。
 - ④食卓には必ず、「警戒ゾーン」に対する生徒・教職員の意識を高め、感染予防に努める。
- 教室環境
 - ①スイッチを使用する生徒を限定する。(生活委員とする)
 - ②配膳時には、マスクまたはフェイスシールドを着用して授業を行う
 - ③先生は、マスクを着用する。

励まし合おう! 応援し合おう!

2回の改訂を加えた学習スタイル

日常生活をとりもどすまでの学習スタイル Ver.3
体の感染、心の感染(恐怖・不安)、社会的な感染(偏見・差別)を防ごう!
新宮町立新宮東中学校

全体	<ul style="list-style-type: none"> ①0の字型にせず、基本的にスクール形式で行う ②ペア活動(向かい合わない)や距離をとった3-4人組での活動を行う(机の中心を空ける) ③教師は、生徒の前ではマスクまたはフェイスシールドを着用して授業を行う ④生徒は、マスクを着用する。 ⑤授業前後は必ず、換気を行う(授業中はロスナイ換気を使用する) ⑥少人数教室や特別教室を可能な限り利用して、三密を回避する ⑦配付物は可能な限り教師が配付し、生徒が配付・回収するとは、配付前・回収時に手消毒を行う(列の先頭に手指消毒ボットを準備する) ⑧忘れとじめわりの代議員の専守、全員での検診・退席は、普段通り行う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 場所 → 理科室は、クリアパーテーションを設置して使用する 実験 → 教師が理科室で演示実験する → 器具を共有しない実験を段階的に行う(使用後は必ず手消毒をする)
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> 場所 → 音楽室を使用する 学習内容 → 会場はマスクを着用し、少人数ごとに行い、室内での全員会場は行わない → 「最後の練習」については、曲を合せて生徒がリズムをとることを禁止し、音軌につなげる
保健科	<ul style="list-style-type: none"> 活動場所 → グラウンドを使用する(雨天時は体育館) → 更衣室の使用は分け行う(女子:プール更衣室 男子:空室教室) 学習内容 → ペアやグループ活動を段階的に取り、終了後は道具の除菌作業を行う
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> 活動場所 → 各教室・統括室を使用する 学習内容 → 調理実習は行わない
技術科	<ul style="list-style-type: none"> 活動場所 → 教室・木工室・PC教室を使用する 学習内容 → PCプリントは、PC教室を使用し、使用後は除菌作業を行う
英語科	<ul style="list-style-type: none"> 発音練習 → 全生徒がマスクを着用し、前方を向いて行う → 一貫の発音練習やペアワークは飛速が飛ばないように配慮して行う

励まし合おう! 応援し合おう!